

# 竹田市農業集落排水事業経営戦略【概要版】（令和8年3月）

## 1 経営戦略改定の概要

平成29年に、竹田市農業集落排水事業経営戦略を策定してから8年が経過しましたが、人口の減少や年数経過による施設老朽化の進行が想定されることから、適宜・適切な修繕と更新により施設の長寿命化を図りつつ、整備を進めていくなど、効率化・安定化等の経営基盤強化へ向けたより一層の取組が求められています。

以上のような背景から、社会情勢の変化に対応するべく、『竹田市農業集落排水事業経営戦略』を改定し、経営基盤の強化を図ります。

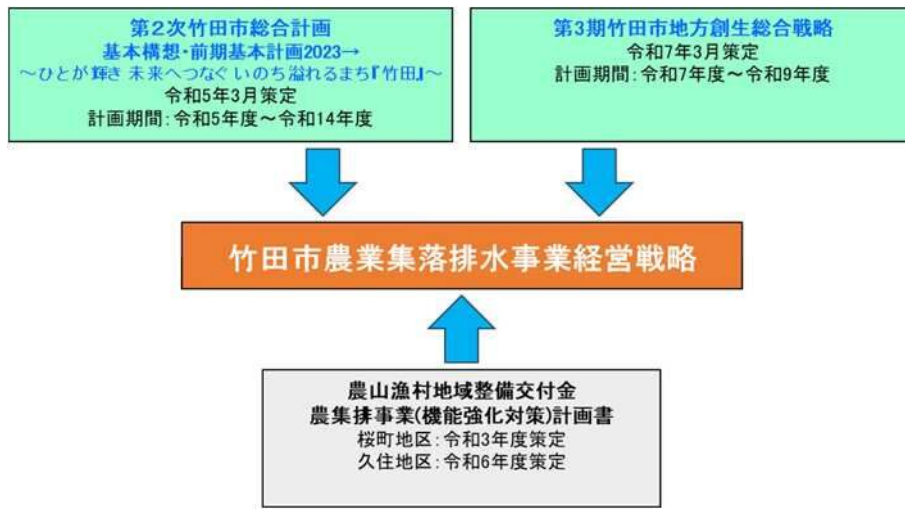


図1 経営戦略の位置づけ

## 2 事業概要

### 2-1 施設について

本市は、平成12年4月から荻桜町地区、平成14年7月から久住地区の農業集落排水施設の供用が開始し、農村地域における生活排水処理施設として整備が進められ、農村地域の生活水準の向上に努めています。

表1 事業の概況

項目	農業集落排水施設	
	桜町地区	久住地区
供用開始 (経過年数)	平成12年4月 (23年)	平成14年7月 (21年)
法適・非適の区分	法適	法適
計画人口	1,770人	1,650人
計画戸数	426戸	351戸
現在処理人口	1,547人	
処理区域面積	0.75km <sup>2</sup>	
処理区域内人口密度	2,062.67人/km <sup>2</sup>	
流域下水道への接続の有無	無し	
処理区数	2地区	
処理場数	2施設	
広域化・共同化・最適化 実施状況	機能強化対策を実施し、最適整備構想を策定している。	

## 2-2 使用料について

本市の使用料体系は、用途別二部料金通増料金制です。  
農業集落排水事業の使用料金は、県内で最高値となっています。

表2 現行の料金体系表

種別	用途	基本料金		超過料金 (1m <sup>3</sup> 当たり)
		水量	料金	
専用	一般用	8m <sup>3</sup> まで	1,440円	180円
	官公署用	8m <sup>3</sup> まで	1,440円	180円
共用	一般用	8m <sup>3</sup> まで	1,440円	180円
	自治会公民館等	年間8m <sup>3</sup> まで	1,440円	180円

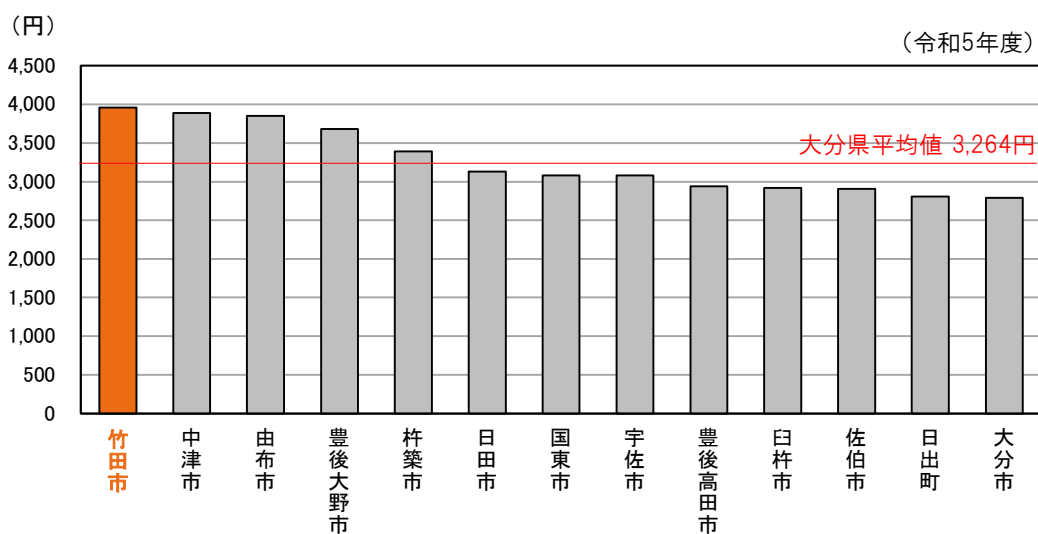


図2 県内における20m<sup>3</sup>当たり料金

## 2-3 民間活力の活用等

これまでの民間活力の活用や経営健全化の取組について以下に示します。

表3 経営健全化の取組内容

民間・資産活用の状況	取組内容
民間委託	以下の業務について民間委託を行っている。 ・収納関連業務 ・水質検査採水業務 ・中継ポンプ場清掃及びポンプオイル交換業務 ・緊急時対応業務 ・余剰汚泥処理業務 ・施設維持管理業務
その他	令和5年度より公営企業会計へ移行した。

## 2-4 経営比較分析表を活用した現状分析

総務省から公表されている経営比較分析表（一部抜粋）を活用し、類似団体との比較や経営状況の分析を行いました。

なお、本市農業集落排水事業は、令和5年より公営企業会計に移行したため、経営比較分析表では、令和5年度決算値のみを比較しています。

表4 類似団体区分（農業集落排水施設区分）

供用開始後年数別区分	区分	団体数
15年以上	F2	563

【経営の健全性・効率性を示す指標】

□経常収支比率(%)						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	本事業では、類似団体平均を上回っており、100%以上であるため経営は健全であるといえます。
竹田市	-	-	-	-	125.79	
類似団体平均	-	-	-	-	106.35	
全国平均	-	-	-	-	104.44	
□流動比率(%)						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	本事業では、類似団体平均を下回っており、また、200%以上が望ましいとされているため、改善していく必要があります。
竹田市	-	-	-	-	17.06	
類似団体平均	-	-	-	-	44.04	
全国平均	-	-	-	-	42.02	
□企業債残高対事業規模比率(%)						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	本事業では、類似団体平均を上回っているため、事業を実施する際に、企業債の借入額に留意し改善していく必要があります。
竹田市	-	-	-	-	1,016.85	
類似団体平均	-	-	-	-	839.21	
全国平均	-	-	-	-	785.10	
□経費回収率(%)						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	本事業では、類似団体平均と同程度であるが、100%を下回っているため、使用料収入の増加対策として、新規加入者を増やす取組と徴収率の向上を図る必要があります。
竹田市	-	-	-	-	53.15	
類似団体平均	-	-	-	-	52.05	
全国平均	-	-	-	-	56.93	
□汚水処理原価(円)						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	本事業では、類似団体平均を大きく上回っており、また、大規模修繕の有無によって、値が大きく変化するため、修繕に係る費用について適宜注視していく必要があります。
竹田市	-	-	-	-	371.18	
類似団体平均	-	-	-	-	301.86	
全国平均	-	-	-	-	271.15	
□水洗化率(%)						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	本事業では、類似団体平均を下回っており、新規加入者を増やす取組を図り水洗化率を改善していく必要があります。
竹田市	-	-	-	-	68.71	
類似団体平均	-	-	-	-	83.96	
全国平均	-	-	-	-	87.54	
【老朽化の状況を示す指標】						
□有形固定資産減価償却率(%)						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	本事業では、類似団体平均を下回っており、この値を維持していく必要があります。
竹田市	-	-	-	-	3.30	
類似団体平均	-	-	-	-	25.46	
全国平均	-	-	-	-	28.42	
□管渠経年化率(%)						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	本事業では、供用開始年度が2施設とも平成10年度以降であり、管渠の法定耐用年数が50年であることから、法定耐用年数を超過している管渠はありません。
竹田市	-	-	-	-	0.00	
類似団体平均	-	-	-	-	0.19	
全国平均	-	-	-	-	0.08	

### 3 将来の事業環境

#### 3-1 処理人口の予測

処理人口は、以下に示すグラフのとおり減少傾向であり、令和6年度から令和7年度で、処理人口は29.9%（Δ316人）減となる見込みです。

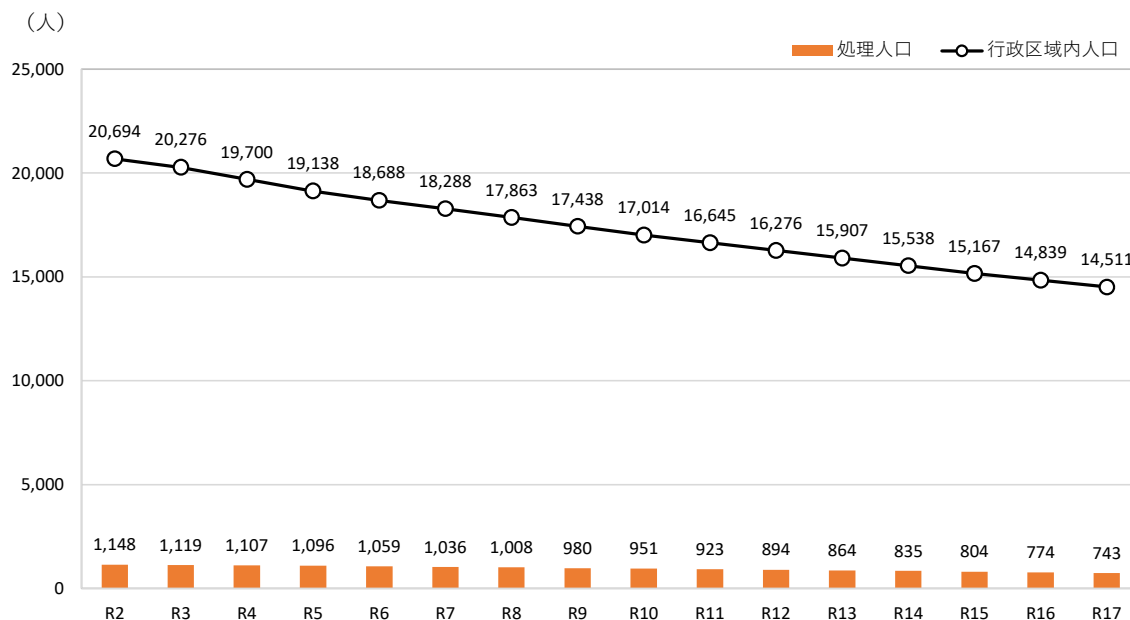


図3 処理人口推計グラフ

#### 3-2 有収水量の予測

有収水量は、以下に示すグラフのとおり減少傾向であり、令和6年度から令和7年度で、有収水量は33.0%（Δ102m<sup>3</sup>/日）減となる見込みです。

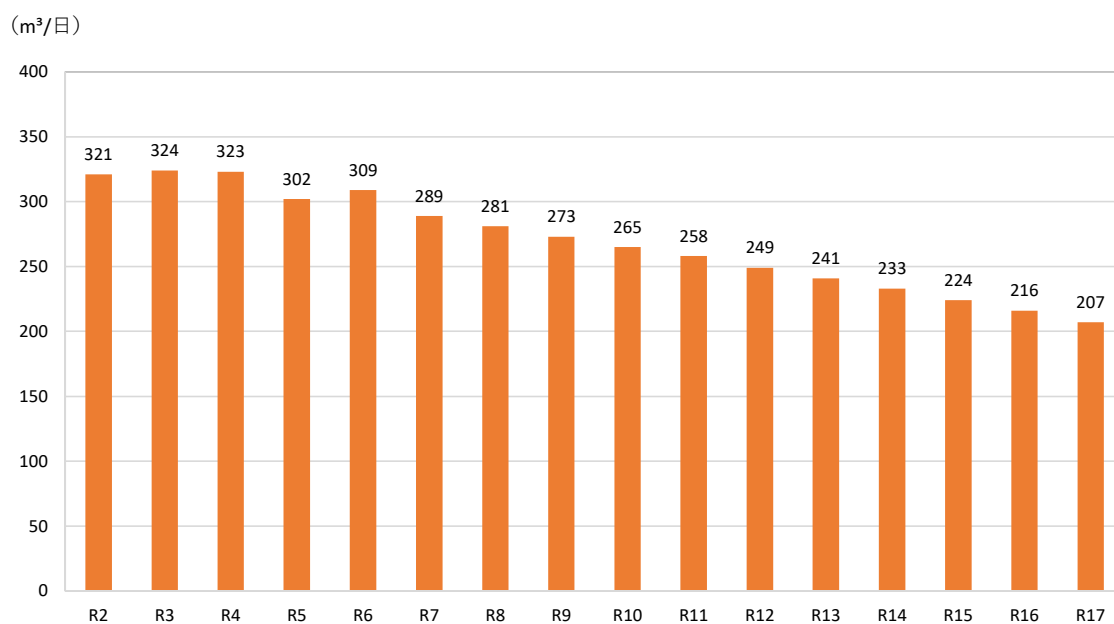


図4 有収水量推計グラフ

### 3-3 料金収入の見通し

農業集落排水事業の使用料収入は、近年の有収水量傾向と同様に減少傾向にあり、今後も有収水量の減少が見込まれるため、使用料収入はさらに減少する見込みです。

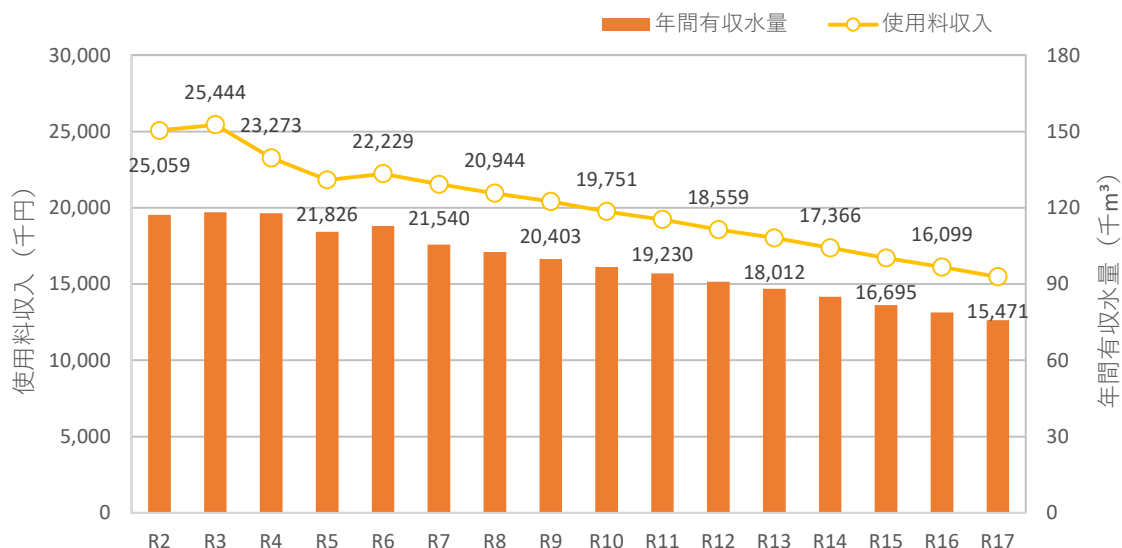


図5 使用料収入の見通し

### 3-4 施設の見通し

農業集落排水事業においては、供用開始から桜町地区で23年、久住地区で21年と、どちらの地区も50年を経過しておらず、施設や管渠について法定耐用年数を超過していません。

また、桜町地区で令和3年度、久住地区で令和6年度に機能強化対策計画を策定、実施し、経年劣化による機能低下や故障している機械電気機器、中継ポンプの更新等を行っているため、直近で更新が急務となることはありません。

機能強化対策計画の概要については以下に示すとおりです。

表5 機能強化対策計画の概要

項目	桜町地区	久住地区
計画年度	R3～R7	R6～R10
処理施設	1式	1式
管路施設	8箇所	5箇所
ポンプ施設	2基	4基
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>経年劣化及び故障している機器の更新</li> <li>処理施設の老朽化及び機能低下に伴う更新</li> <li>計装機器の老朽化及び機能低下に伴う更新</li> <li>マンホール蓋の老朽化に伴う交換</li> <li>中継ポンプの老朽化に伴う更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>処理施設の経年劣化及び故障している機械電気機器の更新</li> <li>マンホール蓋の老朽化に伴う交換</li> <li>中継ポンプの老朽化に伴う更新</li> </ul>

## 4 経営の基本方針

経営の基本方針及び取組について以下に示します。

前回経営戦略の「農業集落排水事業が将来的にわたって安定的に事業を継続させる」という考え方を引継ぎ、次の3点を基本方針として効率化・経営健全化に取り組めます。

これらの基本方針を実現するために、効率化・経営健全化の取組みを検討し、投資試算と財政試算を均衡させます。

- |                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【4-1】 安定した経営基盤の確立</p> <p>【4-2】 将来にわたって持続可能な生活排水処理の運営</p> <p>【4-3】 安心安全な暮らしの実現</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------|

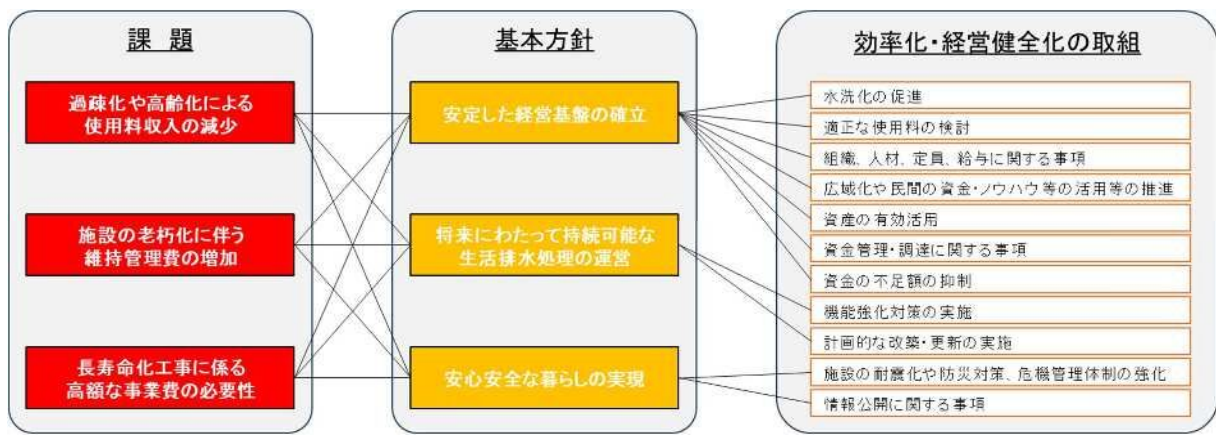


図6 経営の基本方針及び効率化・経営健全化の取組

### 4-1 安定した経営基盤の確立

将来の過疎化や高齢化に伴う人口の減少、施設の老朽化に伴う修繕費や改築費用の増加に備えて、安定した経営基盤を実現するために、水洗化の促進を行うとともに、使用料の改定や組織の見直し、民間活用、資産の有効活用等の検討に努めます。

- (1) 水洗化の促進
- (2) 適正な使用料の検討
- (3) 組織、人材、定員給与に関する事項
- (4) 広域化や民間の資金・ノウハウ等の活用等の推進に関する事項
- (5) 資産の有効活用
- (6) 資金管理・調達に関する事項
- (7) 資金不足額の抑制

#### 4-2 将来にわたって持続可能な生活排水処理の運営

将来の過疎化や高齢化、施設の老朽化に備えて、生活排水施設を持続的に運営・管理するために、令和元年度に最適整備構想を策定しました。また、桜町地区は令和3年度に、久住地区は令和6年度に機能強化対策計画を策定することで、最適整備構想の見直しを行っており、農業集落排水施設の計画的な改築・修繕を実施していきます。

- (1) 機能強化対策の実施
- (2) 計画的な改築・更新の実施

#### 4-3 安心安全な暮らしの実現

農業集落排水事業は、農村地域の水質の確保に寄与し、市民の生活水準の向上に不可欠なものです。そのため、持続的で安定した事業運営を行うために、施設の耐震化や防災対策、危機管理体制の強化を検討するとともに、継続して下水道について情報提供を行います。

- (1) 施設の耐震化や防災対策、危機管理体制の強化
- (2) 情報公開に関する事項

### 5 投資・財政計画

#### 5-1 投資についての説明

##### 【投資目標】

- 久住地区における機能強化対策の実施
  - (1) 機械電気機器の更新
  - (2) マンホール蓋の老朽化に伴う交換
  - (3) 中継ポンプの老朽化に伴う更新

#### 5-2 財源についての説明

##### 【財源目標】

- 人口減少に伴う使用料収入の減少等により、計画期間内で経常損益が赤字となるため、適正な使用料となるよう料金改定等を含めた財源の検討を行い、計画期間及び計画期間以降も健全な経営となるように努めます。

### 5-3 投資財政計画推計結果

投資財政計画の推計結果について以下に示します。

経常損益については、使用料収入の低下や減価償却費の増加等により減少傾向にあり、令和13年度から赤字となる見込みです。

経常損益を黒字とするためには、財源の確保が必要であり、適正な使用料の検討や繰入金等を活用し、健全な経営となるように努めます。

内部留保資金については、計画年度まで一定で推移する見込みです。

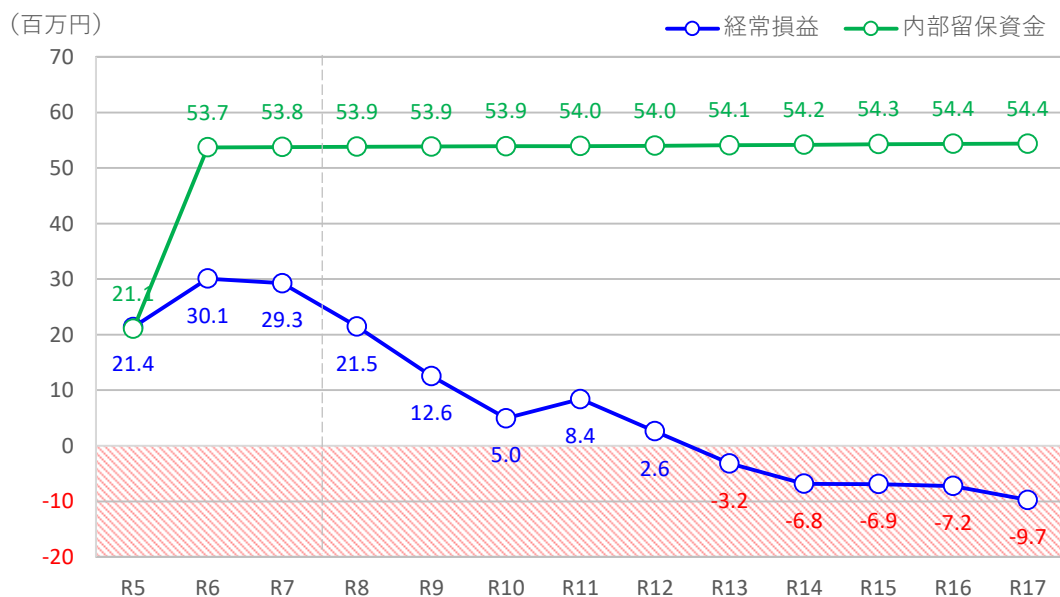


図7 経常損益、内部留保資金の推移

### 5-4 今後検討予定の取組

使用料収入の減少や減価償却費の増加により、令和13年度から経常損益が赤字となる見込みであるため、本経営戦略計画期間内に料金改定を含めた検討を行い、赤字とならないような対策が必要です。

令和6年度に策定した「竹田市水道事業経営戦略」では、水道事業においても令和11年度から赤字となる見込みであり、令和12年度に簡易水道事業の統合も含め、料金改定を行うことで、経営の健全化を図る計画としています。

本事業においても、計画期間の前半で水道事業と併せて使用料の改定を検討し、使用料収入の適正化を図ります。